



岡山大学教育学部附属中学校

Junior High School Attached to the Faculty of Education, Okayama University



令和2年度 国立教育政策研究所課題研究指定校事業
【中学校 カリキュラム・マネジメント】
研究協議会オンライン発表

学びの意義を理解し自ら学び続ける生徒を育成する
カリキュラム・マネジメント
～SDGsを意識した学びに向かう力・人間性等の伸長を中心として～

2021年(令和3年) 2月5日(金)14:25-14:45

岡山大学教育学部附属中学校

教諭・研究主任 竹島 潤

本校の概要

学校教育目標 自主自律 豊かな心で たくましく

使命・役割

- 1 実験的・先導的な学校教育(地域の指導的・モデル的役割)
- 2 教育実習の実施(大学・学部の教育実習計画に基づく)
- 3 教育に関する大学・学部における研究への協力

中等普通教育

教員養成

教育研究

学校現場の魅力発信

働き方改革

所在地 〒703-8281 岡山市中区東山二丁目13番80号

生徒数 535人(令和3年1月21日現在) 開校 1947年(昭和22年)

学級数 1~3学年 各5学級 計15学級 2017(平成29)年 創立70周年記念式

卒業生数 約14,200人(令和元年度末現在)

カリキュラム・マネジメント

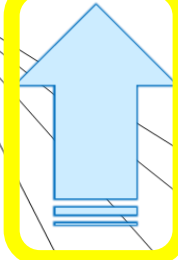
学校教育目標

自主自律 豊かな心で たくましく

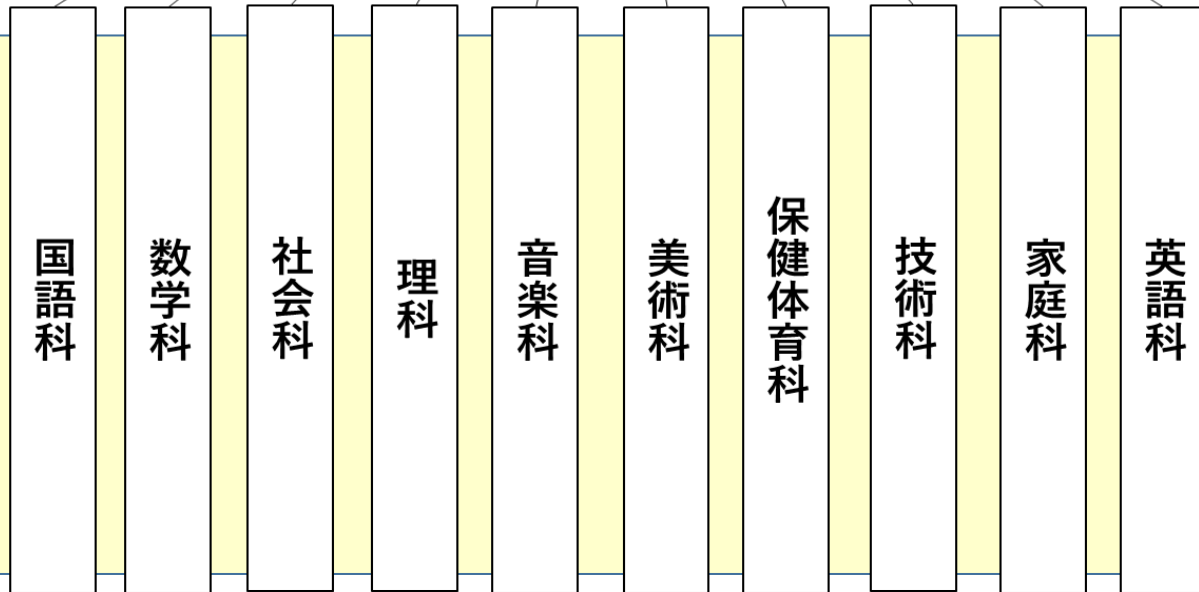
- 1 個性を伸ばし、自ら学ぶ生徒
- 2 心身を鍛え、積極的に取り組む生徒
- 3 自ら判断し、正しく行動する生徒
- 4 人格を尊重し、協調・奉仕する生徒



育成を目指す生徒像



特活・道徳・総合学習等



教科のカリキュラムをつなぐ
教科横断的な視点

- 単元配列表
※教科ごとの月別の単元配列を一覧にまとめたもの
- 授業づくりの共通の視点
※探究的な（課題解決的な）学習や言語活動等

等



知識・技能

思考力・判断力・
表現力

学びに向かう力・
人間性

1年間の主な取り組み

①全体、各教科の研究進捗状況の確認と共有

(研究デザイン検討会←各教科会←主題研究部会)

②総合的な学習の時間(ER)ESDカレンダー、カリキュラム・マップの検討・作成

③SDGsを意識した総合的な学習の時間のカリキュラム開発

(各学年単元プログラムのPDCA)

④各教科・総合的な学習の時間における「学びに向かう力・人間性等」を測定
する評価指標の検討と実施

⑤オンライン教育実践発表会による各教科・総合的な学習の時間の研究公開

⑥岡山市内公立中学校との連携協働プロジェクト(テーマ:環境・防災・人権など)

①全体、各教科の研究進捗状況の確認と共有（研究デザイン検討会）

「学びの意義を理解し」

※学びとは？ 「学びの快楽ーダイアローグへ」(佐藤学著 世織書房)より

ア. 対象世界との出会いと対話(文化的・認知的実践)【世界づくり】

イ. 他者との出会いと対話(社会的・政治的実践) 【仲間づくり】

ウ. 自己との対話(実存的・倫理的実践) 【自分づくり】

・・・対話的コミュニケーションや反省的思考(吟味)により成り立つ



ア. 人間が人間として発達し、人間の本質を実現するために【本質的意義】

「学びの場」として
の学校

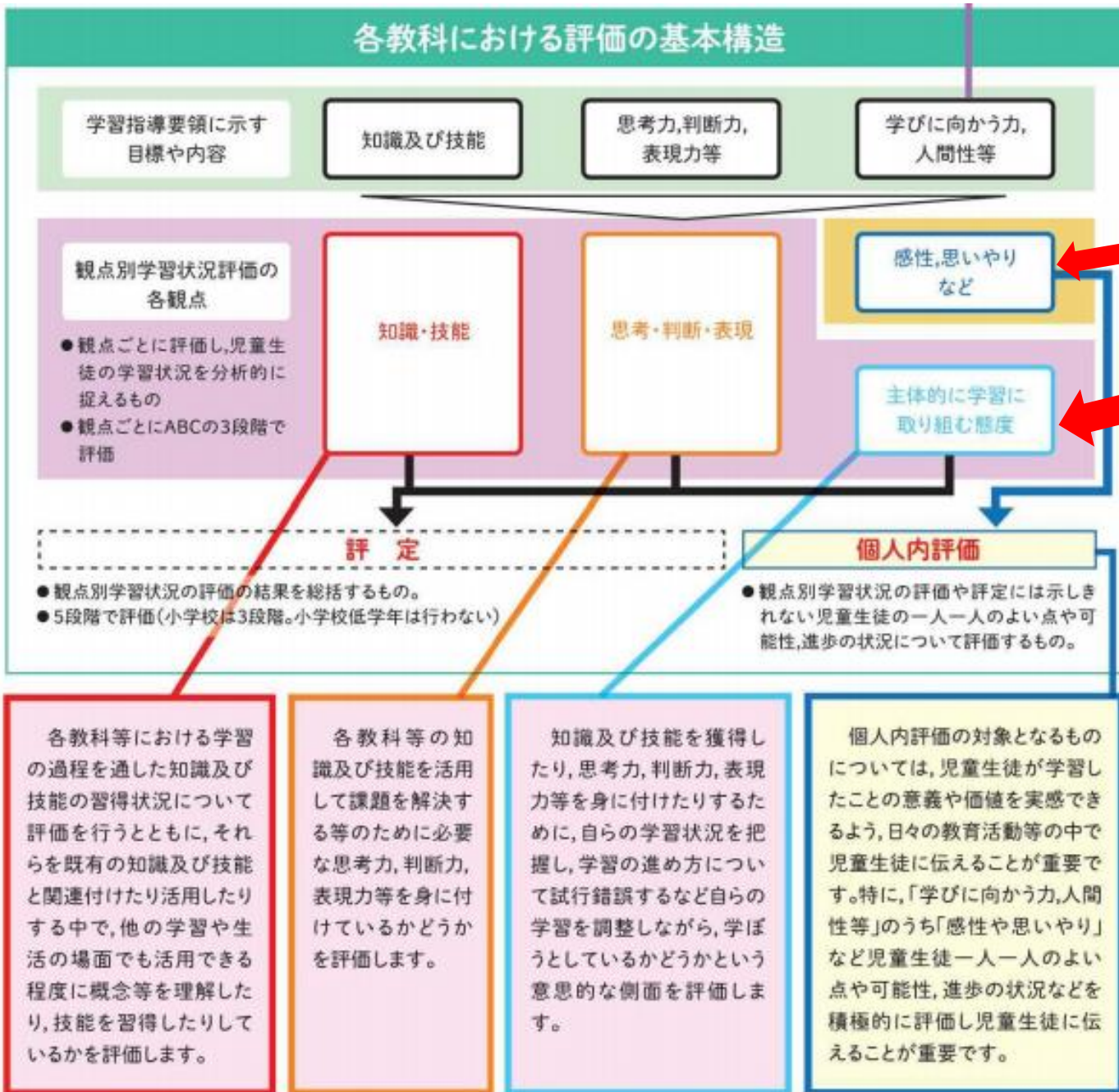
イ. 獲得した知識や教養を社会に生かすために【社会的・客観的意義】

各教科の学び
SDGsの繋がり

ウ. 自己の意欲やキャリア(生き方)の実現のために【主観的意義】

総合的な学習の
時間や各教科の
探究的な学び

①全体、各教科の研究進捗状況の確認と共有（研究デザイン検討会）



「自ら学び続ける」

「コンピテンシー(非認知スキル)」の伸長
(例) 自己効力・耐性・決断力・共感・傾聴力・柔軟性

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

「探究的な(課題解決的な)学習活動の過程」

問題をつかむ
解決の見通しを立てる
見通しに沿って活動し解決する
新たな問題をつかむ

「生徒を学習の主体にさせる4段階アプローチ」

学習課題の価値の自覚
学習課題の解決の計画化
学習課題の追求
学習課題の解決の評価

①全体、各教科の研究進捗状況の確認と共有（研究デザイン検討会）

各教科研究において特に重視する項目

表「学びの意義を理解し自ら学び続ける生徒」を育成するために

各教科等における重点項目		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語	総合
(1) 研究の手立て	ア 単元構成	◎		◎	○		○	◎		○		◎
	イ 指導方法	○	○			◎			◎			
	ウ 学習活動		◎	○	◎	○	◎	○	○	◎	○	○
	エ ふり返り・評価										◎	
(2) SDGsの視点	ア 教科の見方・考え方			○			○		○	◎		○
	イ 学習内容		◎							○	◎	○
	ウ 資質・能力	○			◎	○		○				○
	エ 外部・専門機関との連携／協働										○	◎

最重点項目に◎ 重点項目に○

研究の手立て・・・主たる指導区分

SDGsの視点・・・特にSDGsの視点に関連付けられているもの

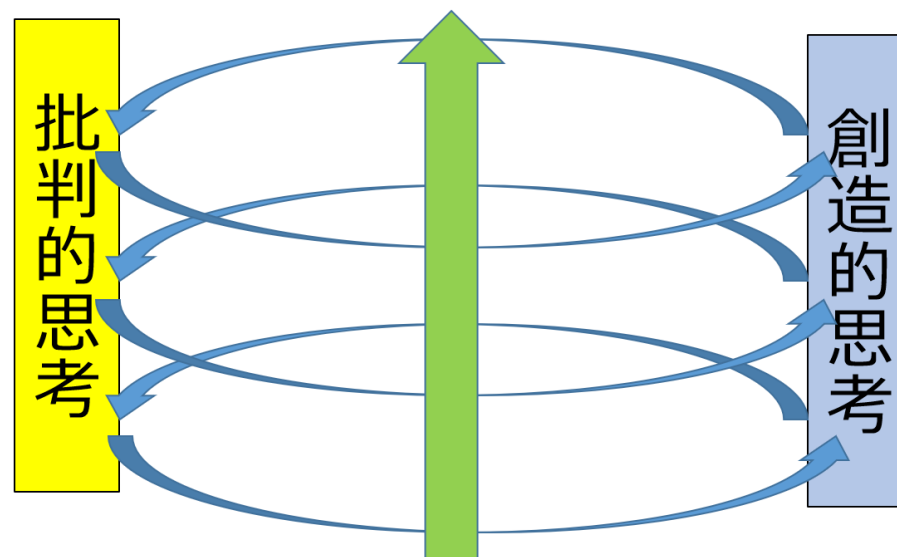
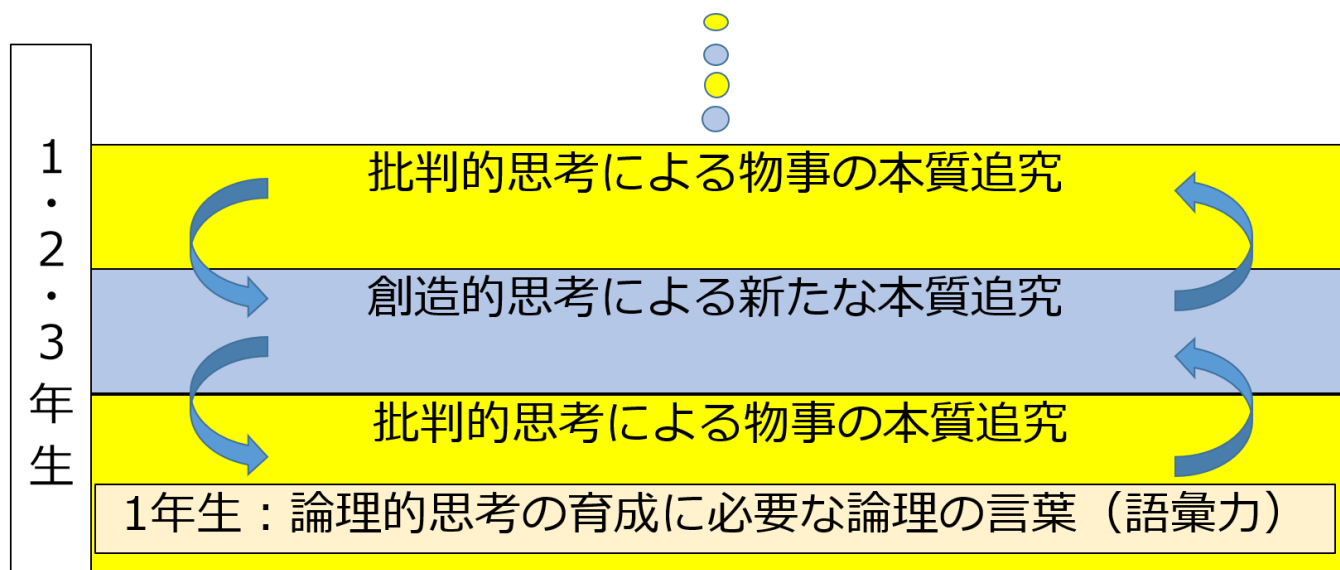
①全体、各教科の研究進捗状況の確認と共有（研究デザイン検討会）

【国語科】

他者との協働を通じて自らの考えを広げ深める生徒の育成

—批判的思考と創造的思考の往還を促すカリキュラム・デザイン—

各教科等における重点項目		国語
(1) 研究の手立て	ア 単元構成	◎
	イ 指導方法	○
	ウ 学習活動	
	エ ふり返り・評価	
(2) SDGsの視点	ア 教科の見方・考え方	
	イ 学習内容	
	ウ 資質・能力	○
	エ 外部・専門機関との連携/協働	



自らの考えを広げ深め続けている生徒

①全体、各教科の研究進捗状況の確認と共有（研究デザイン検討会）

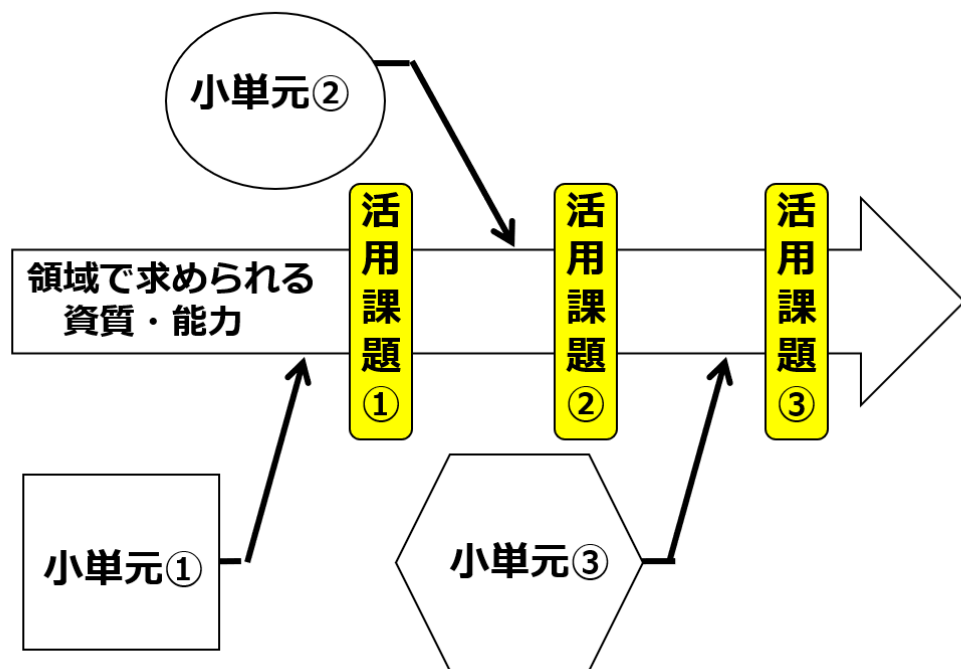
【数学科】

事象を数理的に捉え、数学の問題を見いだし、問題を自立的、協働的に解決することができる生徒の育成

各教科等における重点項目		数学
(1) 研究の手立て	ア 単元構成	◎
	イ 指導方法	
	ウ 学習活動	○
	エ 振り返り・評価	
(2) SDGsの視点	ア 教科の見方・考え方	○
	イ 学習内容	
	ウ 資質・能力	
	エ 外部・専門機関との連携/協働	

本校数学科 単元構成モデル

領域の
パフォーマンス課題



深い学びの実現に向けた
問題解決的な授業を
中心に据えた単元構成

①全体、各教科の研究進捗状況の確認と共有（研究デザイン検討会）

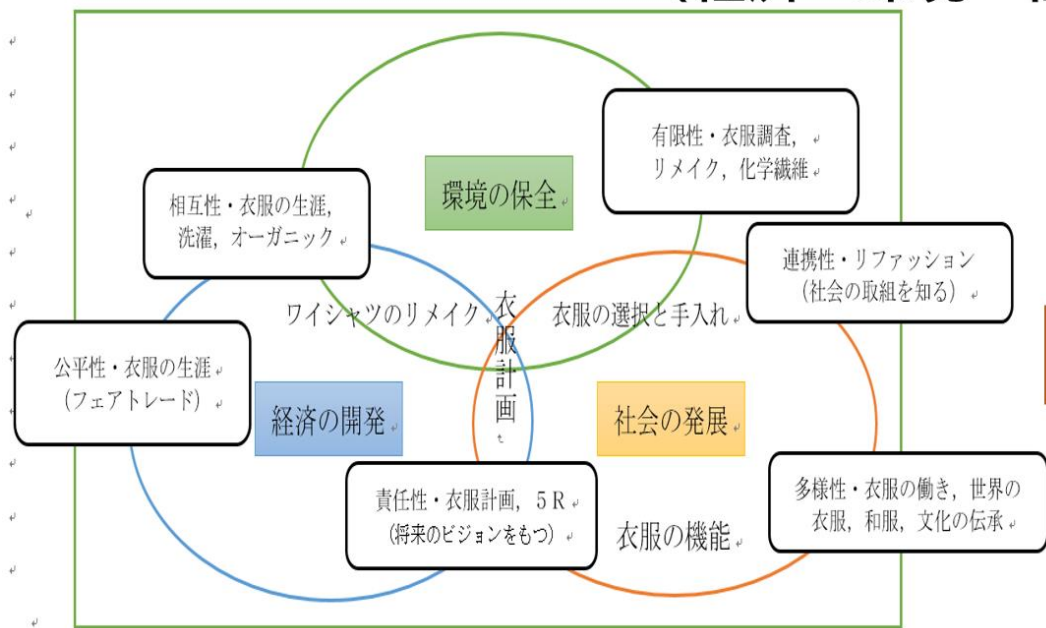
【家庭科】

SDGsを意識し，持続可能な社会の構築の視点で 意思決定できる生徒の育成

—「多様なライフスタイル」を鍵概念とした中学校技術・家庭（家庭分野）のA家族・家庭領域におけるカリキュラム作成の工夫を通して—

・ ESDの視点で意思決定できる3つの側面

（経済・環境・社会）からのアプローチ



各教科等における重点項目		家庭
(1) 研究の手立て	ア 単元構成	○
	イ 指導方法	
	ウ 学習活動	◎
	エ ふり返り・評価	
(2) SDGsの視点	ア 教科の見方・考え方	◎
	イ 学習内容	○
	ウ 資質・能力	
	エ 外部・専門機関との連携/協働	



資料：環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究」より環境省作成

①全体、各教科の研究進捗状況の確認と共有（研究デザイン検討会）

【総合（ER）】

SDGsを意識した単元学習プログラムと個人
テーマ探究活動の充実

～多様な専門・外部機関との連携・協働を活かして～

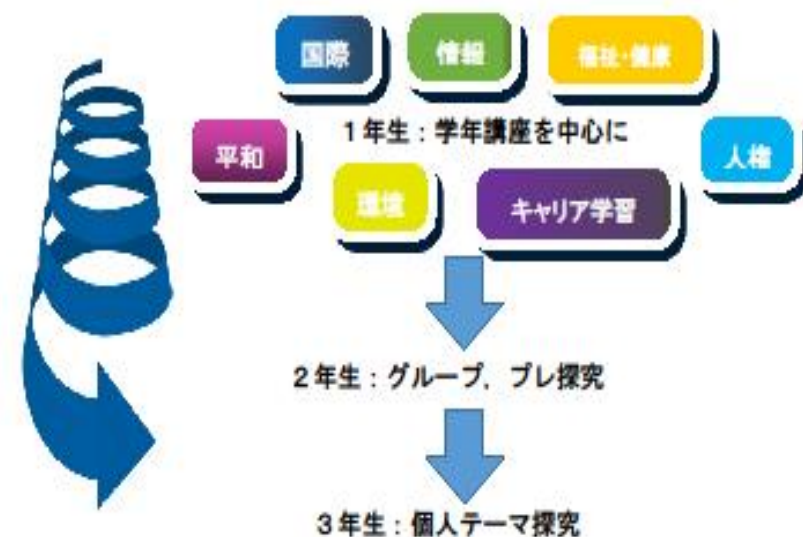
- ・「ESDの学習指導過程を構想し展開するために必要な枠組み」（国立教育政策研究所2012）
- ・社会課題への関心を高める講座制授業
（平和・福祉・国際・環境など）
- ・インプット(第1学年)→プレ探究(第2学年)
→個人探究(第3学年)
社会への発信・参画・貢献など



各教科等における重点項目		総合
(1) 研究の手立て	ア 単元構成	◎
	イ 指導方法	
	ウ 学習活動	○
	エ 振り返り・評価	
(2) SDGsの視点	ア 教科の見方・考え方	○
	イ 学習内容	○
	ウ 資質・能力	○
	エ 外部・専門機関との連携／協働	◎



3年間の学びを見通したテーマ別探究活動



②総合的な学習の時間（ER）ESDカレンダー、カリキュラム・マップの検討・作成

学校教育目標

自主自律 豊かな心で たくましく

目指す生徒像…「自主自律 豊かな心で たくましく」を
体現することのできる生徒

- ・自主自律
(基本的習慣, 自主的・自律的な判断・行動, 責任感)
- ・豊かな心で
(多様性の尊重, 公平性, 協調性, 非暴力, 自然愛護, 異文化理解)
- ・たくましく
(積極性, 柔軟性, 自己回復力)

(「令和2年度学校経営計画書」より抜粋)

本校の 総合的な学習の時間(ER) の目標

本校の総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせながら様々な人, もの, ことに関わる総合的な学習を通して, 目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し, 自己の生き方を考えていくために, 以下の資質・能力を育成する。

- (1) 課題解決に必要な知識および技能を身に付け, 探究的な学習のよさを理解できるようにする。
- (2) 教科学習や自己の経験と関連付けたうえで, 探究の過程を意識して学習を進めることができる。
- (3) 互いのよさを生かしながら, 持続可能な社会づくりに参加・参画・貢献・寄与しようとする態度を育てる。

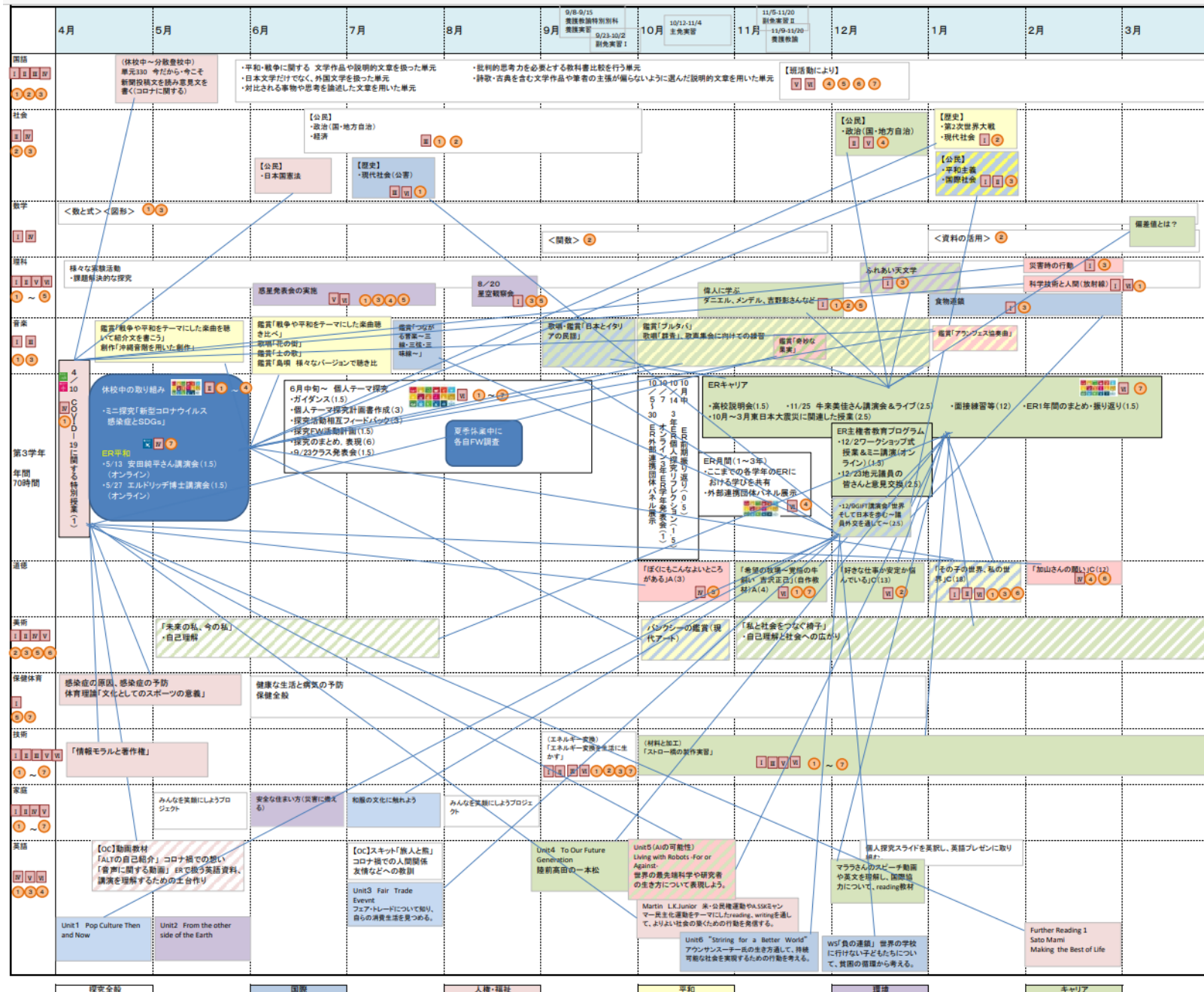
②総合的な学習の時間（ER）ESDカレンダー、カリキュラム・マップの検討・作成

3年間を見据えた学習プログラム とSDGs・ESDの視点を整理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1学年 年間 50時間 学 イン プロ グラ ム ↓ グ レ ー 探 究 ↓ 個 人 テ マ 探 究	4 / 10 COVID-19に関する特別授業(1)	休校中の取り組み ・レポート「今、私が気になっている○○」 ・ガイダンス動画視聴「ERって何？」 ・新聞記事から～収集した情報をもとに	6月下旬～ テーマ別講座 ・6/24ER情報(山陽新聞出前講座)(1.5) ・7/1、2、8のうち1日 ER平和(学区FW)(2.5) ・7/13ER共通(ESD, SDGsに関する講義)(1.5) ・8/26ER環境(気候変動に関する講義)(1.5)	7/22 GIFT(2.5)	9月 まとめ ・新聞づくり(3) ・9/16クラス発表会(1.5) ・9/23学年発表会(1.5)	9/8-9/15 養護教諭特別科 養護実習 9/23-10/2 副実習1	10/12-11/4 主実習 10/10 ER前期振り返り(0.5) 10/10 ER個人探究フレクシオン(1.5) 10/10 ER外部連携団体パネル展示(1) ※1・2年生は10/21に3年生の実践から学ぶ授業	11/5-11/20 副実習Ⅱ 11/9-11/20 養護教諭 保健実習	11月下旬～ ERキャリア 岡大教育学部オンライン訪問 ・オンライン訪問に向けて(2) ・キャリアとは何か(1) ・オンライン研究室訪問(1.5) ・岡大訪問まとめ(1.5) ・まとめ発表会(1.5) ・進路学習(1)	1月～ER国際 多文化共生プログラム(7.5) ・洛陽外国語学校との交流	・来年度に向けて(3) ・ER1年間のまとめ・振り返り(1.5)	ERキャリア/ 人権・福祉 東日本大震災追悼ド キュメンタリー映画「Lif e生きてゆく」鑑賞(2)
第2学年 年間 70時間	4 / 10 COVID-19に関する特別授業(1)	休校中の取り組み ・ブレ探究京都①② (ワークシート2枚)	分散登校 中の取 組み 6/4 ハンセ ン病学 習交流 会(1)	7/1または2 ER平和 岡山空襲講演会(2) ※1・2年合同	6月中旬～ ER平和 岡山市内平和FW ・事前計画(3) ・7/1または2 岡山市内FW(2) ・まとめ(1.5) ・まとめ交流会(1.5)	8月下旬～ERこころ 「心の病を学ぶ授業」 ・オリエンテーション(0.5) ・8/31講演会(1) ・9/1担任による事前授業(1) ・9/2オンライン交流授業(地域 事務所の方々)(2) ・まとめ(1.5) ・まとめ発表会(1.5)	9/23ER ブレ探究 ・3年ER学年発表会に 向けて(1.5)	10 / 21 ER学年発表会(1.5)	10月下旬～ERブレ探究&ERキャリア ・オリエンテーション(1.5) ・キャリア講演会(1.5) ・ブレ探究(10.5) ・岡山大他学部オンライン訪問(3) ・企業・NPO/NGOオンライン訪問(3) ・まとめ(1.5) ・交換会(1.5) ・ER1年間のまとめ・振り返り(1.5)	12/23 GIFT(1.5)		
第3学年 年間 70時間	4 / 10 COVID-19に関する特別授業(1)	休校中の取り組み ・ミニ探究「新型コロナウイルス 感染症とSDGs」 ER平和 ・5/13 安田純平さん講演会(1.5) (オンライン) ・5/27 エルドリッチ博士講演会(1.5) (オンライン)	6月中旬～ 個人テーマ探究 ・ガイダンス(1.5) ・個人テーマ探究計画書作成(3) ・探究活動相互フィードバック(3) ・探究FW活動計画(1.5) ・探究のまとめ、表現(6) ・9/23クラス発表会(1.5)	夏季休業中に 各自FW調査	ER月間(1～3年) ・ここまでの各学年のERに おける学びを共有 ・外部連携団体パネル展示	ERキャリア ・高校説明会(1.5) ・11/25 牛来美佳さんオンライン講演会&ライブ(2.5) ・面接練習等(12) ・ER1年間のまとめ・振り返り(1.5) ・10月～3月東日本大震災に関連した授業(2.5)	ER主権者教育プログラム ・12/2ワークショップ式 授業&ミニ講演(オン ライン)(1.5) ・12/9GIFT講演会(2.5) ・12/23地元議員の 皆さんと意見交換(2.5)					

②総合的な学習の時間 (ER) ESDカレンダー、カリキュラム・マップの検討・作成

各学年別
で
つながり
見える化



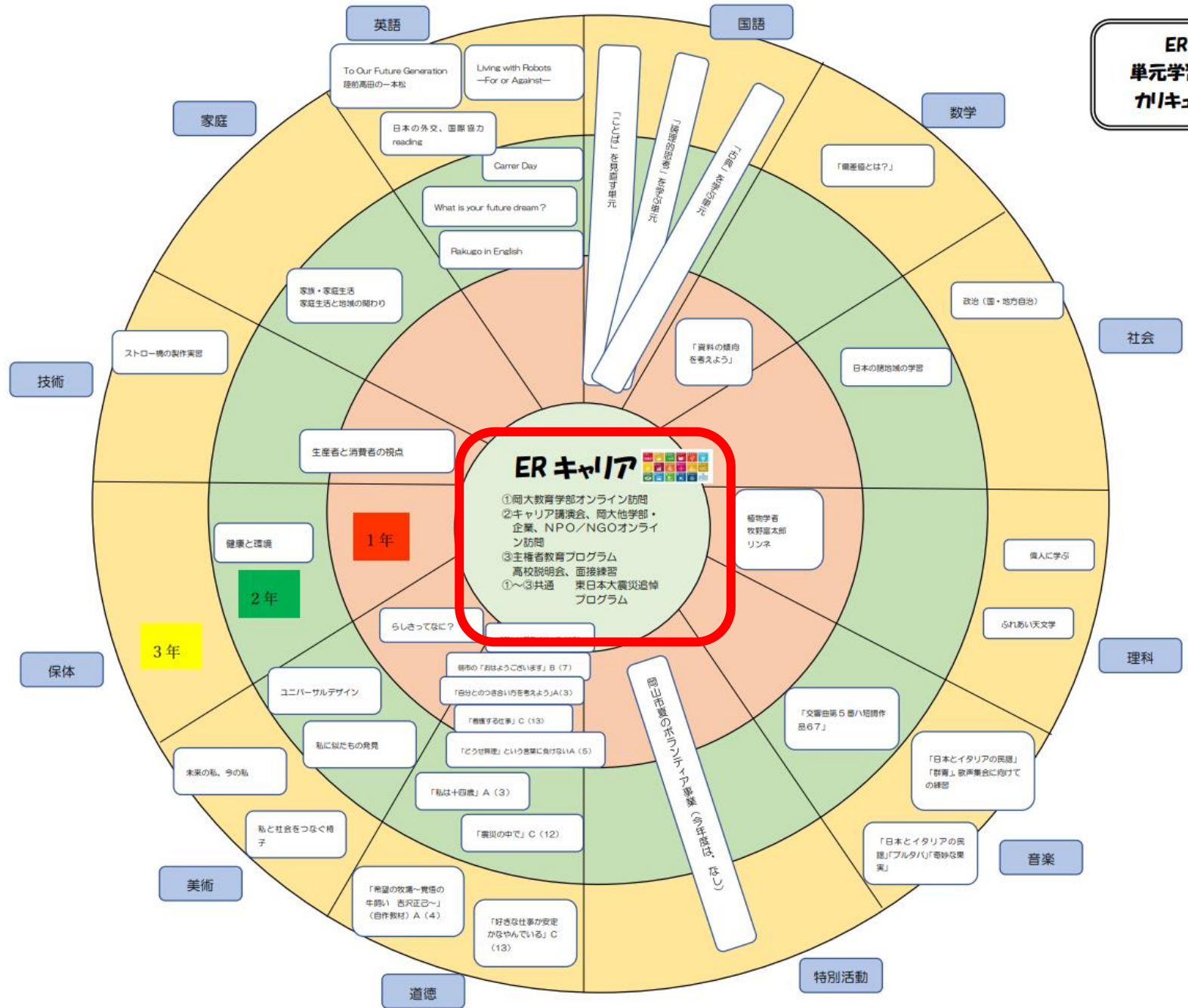
(例)3年
「学びの
カレンダー」

- 【6つの構成概念】
- 多様性 (Diversity)
 - 相互性 (Mutuality)
 - 有限性 (Limitation)
 - 公平性 (Fairness)
 - 連携性 (Collaboration)
 - 責任性 (Responsibility)
- 【5つの能力・態度】
- 批判的に考える力 (Critical thinking skills)
 - 多面的・総合的に考える力 (Multifaceted and comprehensive thinking skills)
 - 他者と協力する態度 (Attitude of cooperating with others)
 - 進んで参加する態度 (Attitude of participating proactively)
 - 未来像を予測して計画を立てる力 (Ability to predict the future and make plans)
 - コミュニケーションを行う力 (Communication skills)
 - つながりを尊重する態度 (Attitude of respecting connections)
- 【SDGs17のゴール】
- 1 貧困をなくそう
 - 2 飢餓をゼロに
 - 3 すべての人に健康と福祉を
 - 4 質の高い教育をみんなに
 - ジェンダー平等を実現しよう
 - 6 安全な水とトイレを世界中に
 - 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
 - 8 働きがいも経済成長も
 - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - 10 人や国の不平等をなくそう
 - 11 住み続けられるまちづくりを
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 13 気候変動に具体的な対策を
 - 14 海の豊かさを守ろう
 - 15 陸の豊かさを守ろう
 - 16 平和と公正をすべての人に

②総合的な学習の時間（ER）ESDカレンダー、カリキュラム・マップの検討・作成

ER キャリア
単元学習プログラム
カリキュラム・マップ

カリキュラム・マップ



単元学習プログラムの整理

単元名 ERキャリア
「主権者教育プログラム」(第3学年)



1 単元の目標

地元や本校に縁のある政治家（議員）の思いに触れたり、意見を交換したりすることを通して、持続可能な社会を創るには一人一人がその責任と義務を自覚し、自ら進んで行動することが必要であることを理解するとともに、主権者及び市民として社会に参加・参画・貢献・寄与しようとする態度を育てる。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①持続可能な社会を創るには一人一人がその責任と義務を自覚し、自ら進んで行動することが必要であることを理解している。</p> <p>②収集した情報を分類し、分かりやすい方法で表している。 →これが全体の中に入れられず、資料作成は実行委員だけになります。以下、赤字でひとまず入れてみました。</p>	<p>①個人テーマ探究とのつながりから、SDGs 課題解決に向けて何が問題かを見付け出し、課題を明らかにしている。</p> <p>②課題の解決に必要な情報を、効果的な手段を選択して多様に収集している。</p> <p>③課題の解決に向けて多様な情報について、根拠をもとに整理したり、深く分析したりしながら解決に向けて考えている。</p> <p>④主権者及び市民として何ができるのか、自分自身の考えをまとめ、論理的で効果的に表現している。</p>	<p>①持続可能な社会を実現するために、自ら社会に参加・参画・貢献・寄与しようとしている。</p>

③SDGsを意識した総合的な学習の時間のカリキュラム開発

単元学習プログラムの整理

3 指導と評価の計画 (5.5 時間 + 朝読書・昼食時間 7 回)

小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
SDGs 課題解決に向けて～主権者及び市民として～ (1.5)	・ワークショップ式授業&ミニ講演 「あなたが主役の政治」 講師：原田謙介氏 (元 NPO 法人 Youth Create 代表) (zoom 使用、各教室)	①	①		・ワークシート ・発言
SDGs 課題解決に向けて～主権者及び地球市民として～ (2.5)	・GIFT 講演会 「世界そして日本を歩む～議員外交を通して～」 講師：逢沢一郎氏 (衆議院議員・本校 OB)	↓			・ワークシート
朝読書資料配付①	「SNS と政治の関わり」	②	②③		・資料
朝読書資料配付②	「私たちと選挙」				
昼食放送①	「今の政治課題」	②			・資料
朝読書資料配付③	「私たちの県議会」				
昼食放送②	「県政・市政」	②			・資料
昼食放送③	「アンケート結果」	②			・資料
朝読書資料配付④	「ゲスト議員プロフィール」		↓ ↓		
持続可能な社会の創り手として～私たちにできること～ (1.5)	・ゲスト議員の皆さんとの意見交換会 (各教室、クラス間共有は zoom を使用し、オンライン会議) ※参照 1		④	①	・ワークシート ・発言

【本校版】目指す生徒像に基づく「学びに向かう力・人間性等」の評価項目

理念	非認知能力項目		短期的評価項目		中・長期的評価項目
「自主自律 附属中学校が 豊かな心で 目指すたくましく 生徒像」	<p>「自主自律」 —自分を律し、自他への敬意を 持とう—</p> <p><自制と敬意></p>	自制系	授業に必要な基本的な姿勢や取組みができているか	敬意系	学びにかかわる様々な「人・ものやこと・自分自身」を尊重できているか
			提示された課題を粘り強く追究できているか		共に学び合う他者に共感しながらお互いの違いも含めて尊重できているか
			困難な課題に対して諦めずに解決できているか		新しい知識や異なった見識を拒むことなく謙虚に学ぼうとしているか
	<p>「豊かな心で」 —人とつながり、社会へ貢献しよう—</p> <p><協働と貢献></p>	協働系	自分の意見を相手に配慮しながらわかりやすく伝えられているか	貢献系	学んできたことを活用して身近な課題解決ができているか
			相手の意見を積極的に聴き入れ違いなどを理解できているか		自分が日常生活や地域社会のために果たしたい役割を自覚できているか
			お互いを生かし合える役割を担い共に課題解決ができているか		学んできたことを踏まえてよりよい社会のあり方を見通すことができているか
	<p>「たくましく」 —意欲を持って、挑み続けていこう—</p> <p><意欲と挑戦></p>	意欲系	自分の考えを整理し意見として積極的に表現できているか	挑戦系	学んできた内容を多面的な視点を用いてさらに探究を深められているか
			自分で新しい課題を発見しさらなる探究ができているか		学んできた内容を実生活や社会の中で活用できているか
			学習した内容と自分や社会とのつながりを見出せているか		学んできた内容をさらに新しい内容や取組みへと更新できているか

④各教科・総合における「学びに向かう力・人間性等」を測定する評価指標の検討と実施

【本校版】 目指す生徒像に基づいた「学びに向かう力・人間性等」の評価項目

前期末
平均値

理念	非認知能力項目	肯定的回答の割合	中・長期的評価項目	前期末平均値
岡山大学自主自律教育学部豊かな心でたくましく目指す生徒像	自主自律 一人自分を律し、自他への敬意を <自制と敬意>	92%	学びにかかわる様々な「人・ものやこと・自分自身」を尊重できているか	4.38
		95%	共に学び合う他者に共感しながらお互いの違いも含めて尊重できているか	4.60
		94%	新しい知識や異なった見識を拒むことなく謙虚に学ぼうとしているか	4.53
	豊かな心で 一人とつながり、社会へ貢献し <協働と貢献>	78%	学んできたことを活用して身近な課題解決ができているか	3.97
		74%	自分が日常生活や地域社会のために果たしたい役割を自覚できているか	3.93
		85%	学んできたことを踏まえてよりよい社会のあり方を見通すことができているか	4.19
	たくましく 一意欲を持って、挑み続けてい <意欲と挑戦>	81%	学んできた内容を多面的な視点を用いてさらに探究を深められているか	4.14
		74%	学んできた内容を実生活や社会の中で活用できているか	3.95
		78%	学んできた内容をさらに新しい内容や取り組みへと更新できているか	4.06

④各教科・総合における「学びに向かう力・人間性等」を測定する評価指標の検討と実施

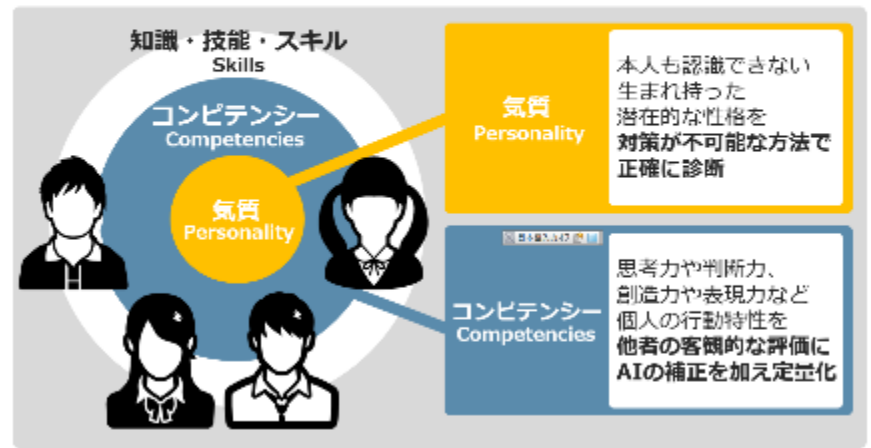
外部評価指標「Ai GROW」(IGS社)の活用

- ・年間4回実施
【前期】7月・10月 【後期】12月・2月
- ・全校生徒のコンピテンシーを可視化
- ・生徒自身が日常生活を省察、改善する機会として
- ・本校版「学びに向かう力・人間性等」のエビデンスとして
- ・本校教育活動を改善・充実させる機会として



Ai GROWで計測できるデータ Ai GROW

生徒の潜在的な性格とコンピテンシーを正確に評価・分析。
グローバル化の進展に対応できる
「問題発見・解決型人材」の育成に貢献します。



振り返りシート(個人)の項目から

- スコアの高いコンピテンシーについて、なぜ／どのような行動をしていることでそうなったと思うか？
- 今後、もっとも伸ばしたいコンピテンシーは？
- 「自分が伸ばしたい項目」が高い人はどんな行動をとっていると思うか？
- コンピテンシーを高めるためにどうする？
 - ①学校の各教科・総合の授業で
 - ②学校(学年)行事、委員会、部活動で
 - ③学校でのコミュニケーション(友人関係)で
 - ④学校外の場所(家庭や地域)で

④各教科・総合における「学びに向かう力・人間性等」を測定する評価指標の検討と実施

Ai GROWで計測できるコンピテンシー

主に教科等で育てる力

分野	コンピテンシー	詳細
認知	課題設定★	状況を的確に把握しながら「何をすべきか」「どうやって成し遂げるか」を自ら考え出せる能力
	解決意向	課題を解決するために必要な計画や方法を自ら具体的に立案しながら取り組むことのできる能力
	論理的思考★	道理や筋道に即って物事を深く考えることができ、複雑なことでも分かりやすく説明できる能力
	疑う力★	他者の意見をそのまま鵜呑みにすることなく、必要に応じて建設的な反論をすることのできる能力
	創造性★	自分ならではの独自性に加えて、実現可能な生産性を伴ったアイデアを出すことのできる能力
自己	個人的実行力★	自らの意思によって行動を起こして計画を進め、何事にも自ら進んで取り組むことのできる能力
	内的価値	物事を自分の価値観で判断し、情熱・才能・知識・人脈・人格・目的の要素から分析できる能力
	ビジョン	将来、自分がどのように成長していきたいかなど、未来の目標を明確に持つことのできる能力
	自己効力★	何らかの課題に直面しても、「自分ならできる」と自信を持って物事を進めることのできる能力
	成長	どんな難題に対しても「自分の成長につながる」と信じて積極的に取り組むことのできる能力
	興味	自分が知らない・興味のない分野のことであっても、情報を積極的に収集することのできる能力
	耐性★	困難な状況であっても、自分で決めたことは最後までしっかりとやり抜くことのできる能力
	感情コントロール	負荷が掛かる状況であっても、自分のストレスを自分自身でコントロールすることのできる能力

分野	コンピテンシー	詳細
他者	決断力★	自分の考えと客観的な事実とを照らし合わせながら判断し、物事を決めることのできる能力
	表現力★	自分の考えや思いはもちろん、どんなことでも相手が理解しやすいように伝えることのできる能力
	共感・傾聴力★	相手の話を真剣に聴き、相手を深いレベルで理解し、相手の気持ちを尊重することのできる能力
	外交性	たとえそこが未知の環境であったとしても、自ら進んでその環境に飛び込むことのできる能力
	柔軟性★	変化への対応力とともに、その場その場で機転を利かせて行動を適宜修正することのできる能力
	寛容	自分とは考えや意見の異なる相手に対しても理解を示し、それを許容する態度が持てる能力
	影響力の行使★	他者に対して自分の考えや目的を伝えながら、ともに協働して物事を進めることのできる能力
	情熱・宣教力	揺るぎない情熱をもって自分の考えを他者に広め、それを納得させることのできる能力
	コミュニティ	組織への働きかけ
地球市民★		自分が住む地域や日本のことはもちろん、世界の一員として何ができるか考えられる能力
組織へのコミットメント		組織の目的や目標を正しく理解した上で、その実現のために真剣に動くことのできる能力
誠実さ		どんな状況であっても、周囲に正しい行いをするように働き掛けることのできる能力

★：計測したコンピテンシー（13項目）

主に教科横断的・総合的に育てる力

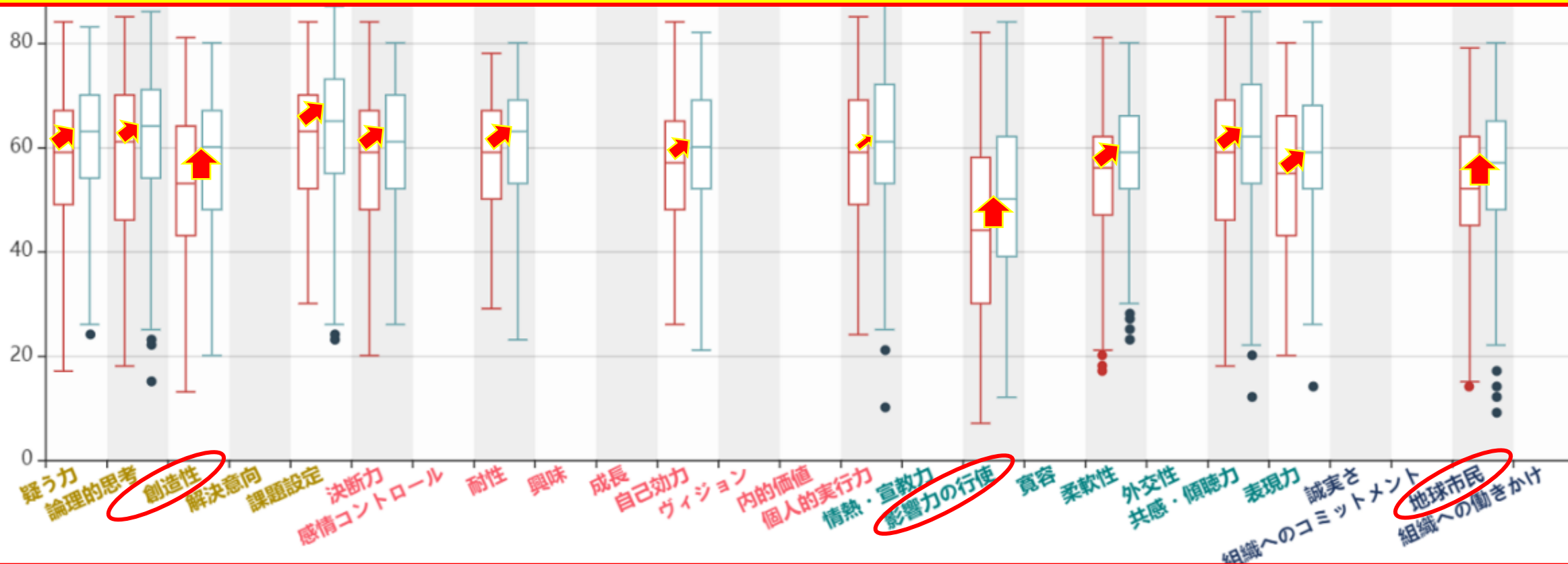
Ai GROWによるコンピテンシーの可視化

【7月】第1回⇒【8・9月】ER(個人テーマ探究)⇒【10月】第2回

コンピテンシースコア

100

中央値の上昇が大きい項目「創造性」(7ポイント↑) 「影響力の行使」(6ポイント↑) 「地球市民」(5ポイント↑)



スコア上昇の生徒数が最多の項目

「創造性」(67名は10ポイント以上↑ ※内22名は20ポイント以上↑)

本校の目指す生徒像と Ai GROWで可視化するコンピテンシーの詳細の関連付け

自主自律

「個人的実行力」

自らの意思によって行動を起こして計画を進め、何事にも自ら進んで取り組むことのできる能力

「耐性」 困難な状況であっても、自分で決めたことは最後までしっかりとやり抜くことができる能力

「共感・傾聴力」

相手の話を真剣に聴き、相手を深いレベルで理解し、相手の気持ちを尊重することのできる能力

豊かな心で

「表現力」 自分の考えや思いはもちろん、どんなことでも相手が理解しやすいように伝えることのできる能力

「影響力の行使」

他者に対して自分の考えや目的を伝えながら、ともに協働して物事を進めることのできる能力

「地球市民」

自分が住む地域や日本のことはもちろん、世界の一員として何ができるか考えられる能力

たくましく

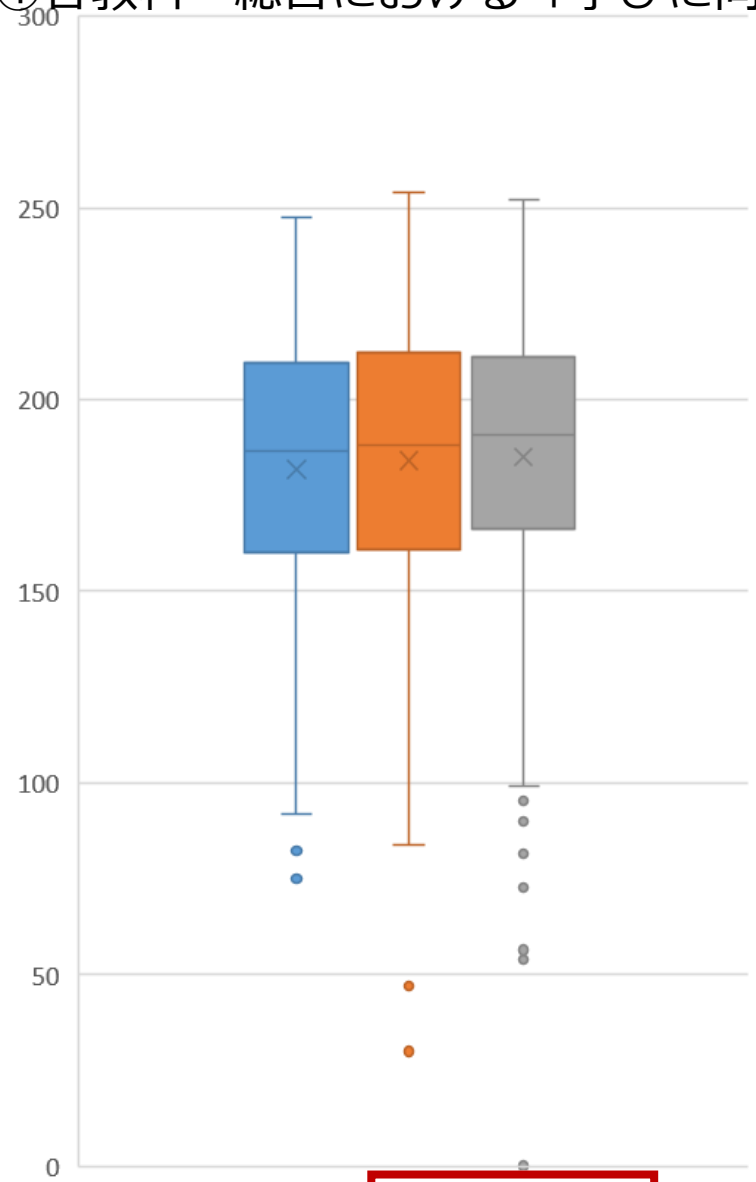
「自己効力」

何らかの課題に対しても「自分ならできる」と自信を持って物事を進めることのできる能力

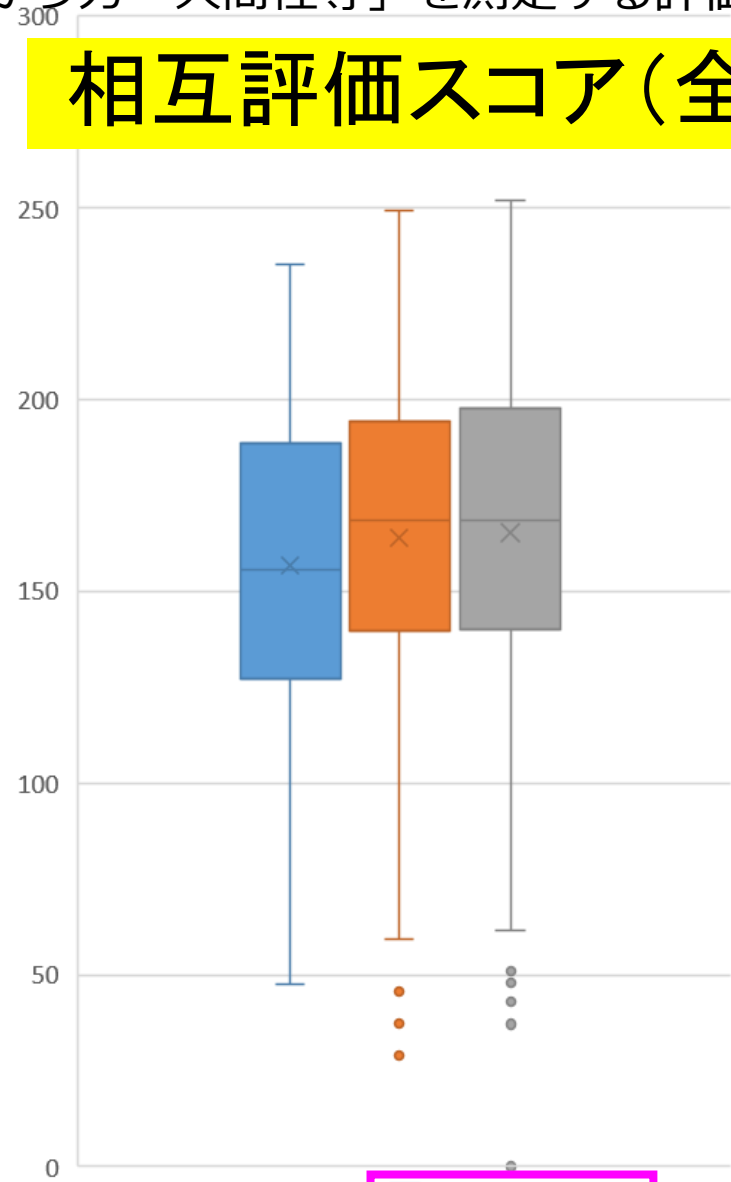
「決断力」 自分の考えと客観的な事実とを照らし合わせながら判断し、物事を決めることのできる能力

「柔軟性」 変化への対応力とともに、その場その場で機転を利かせて行動を適宜修正することのできる能力

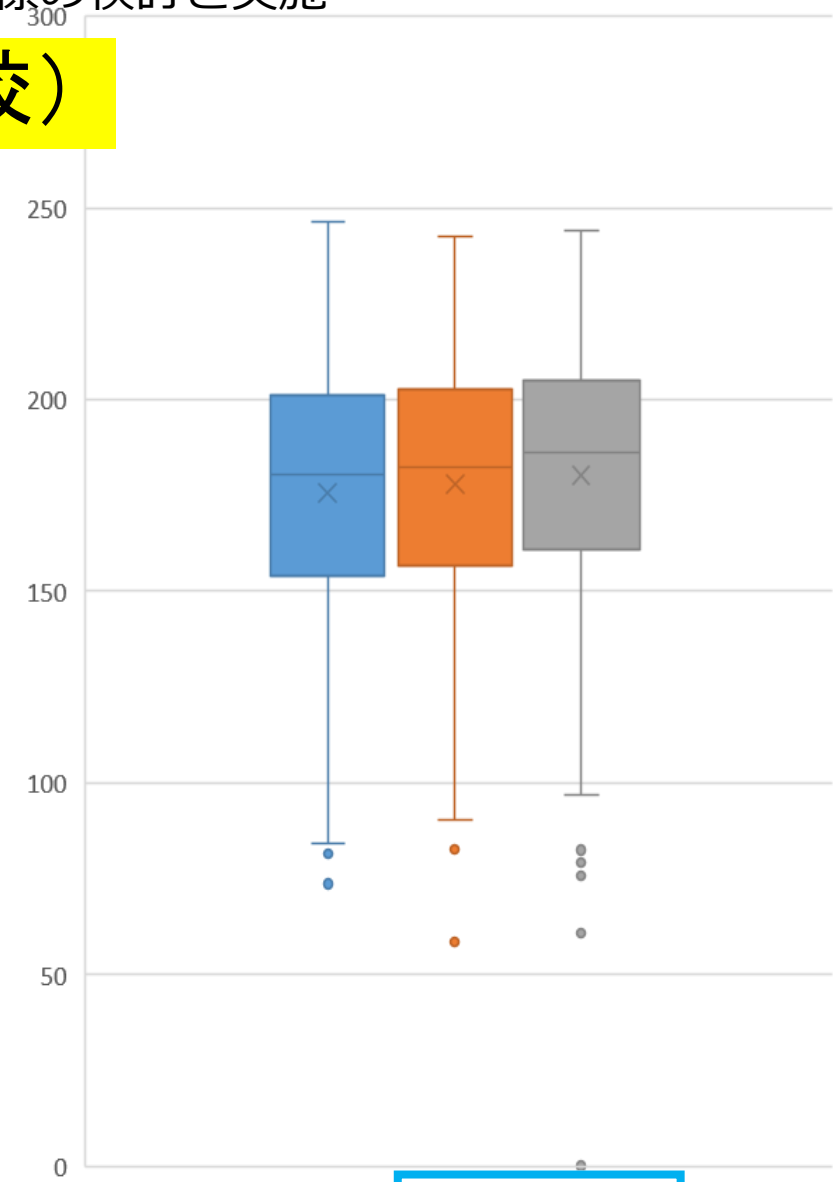
相互評価スコア(全校)



- 1 自主自律7
- 自主自律10
- 自主自律12



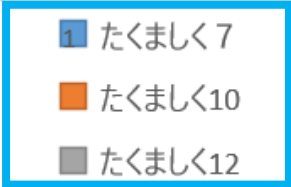
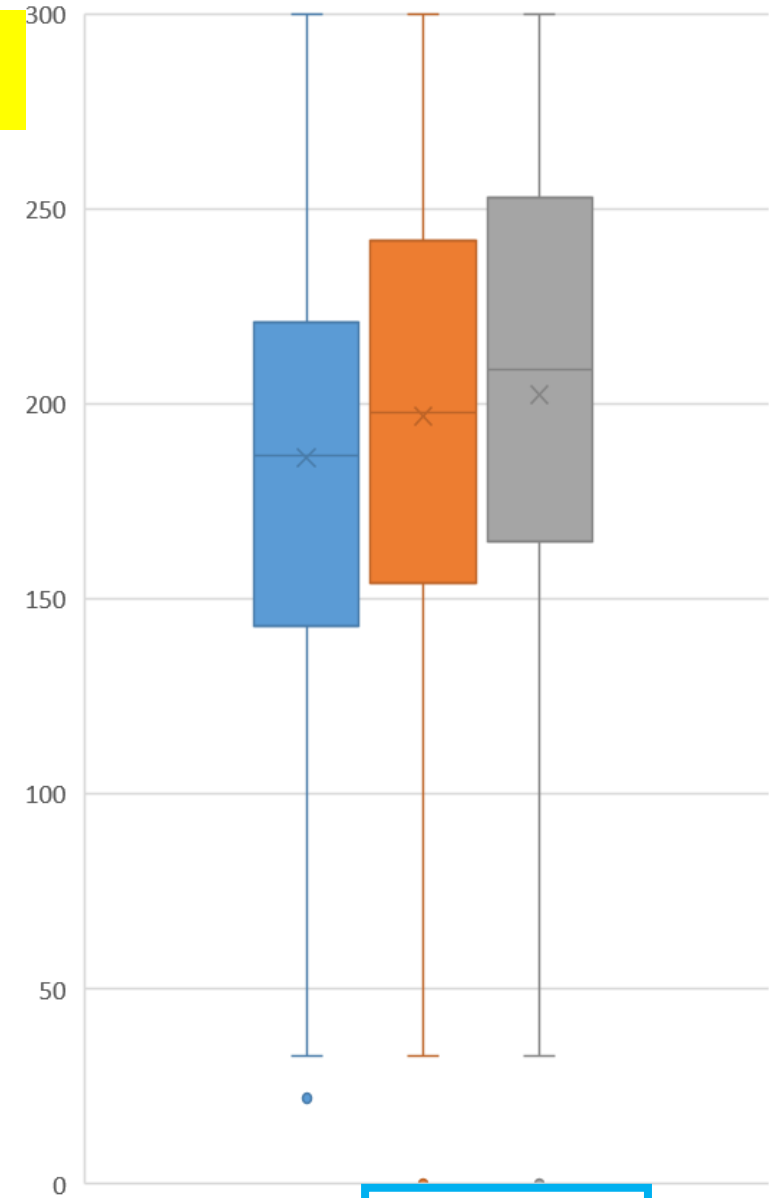
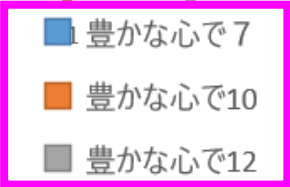
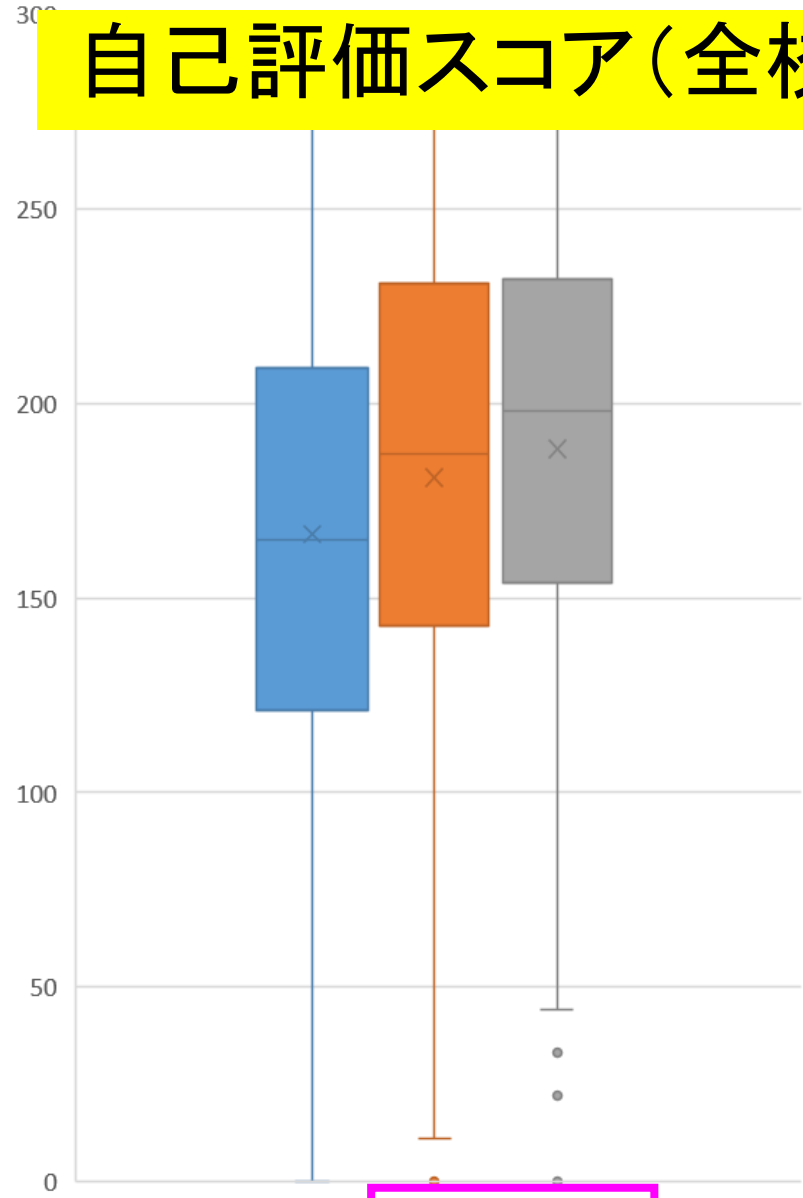
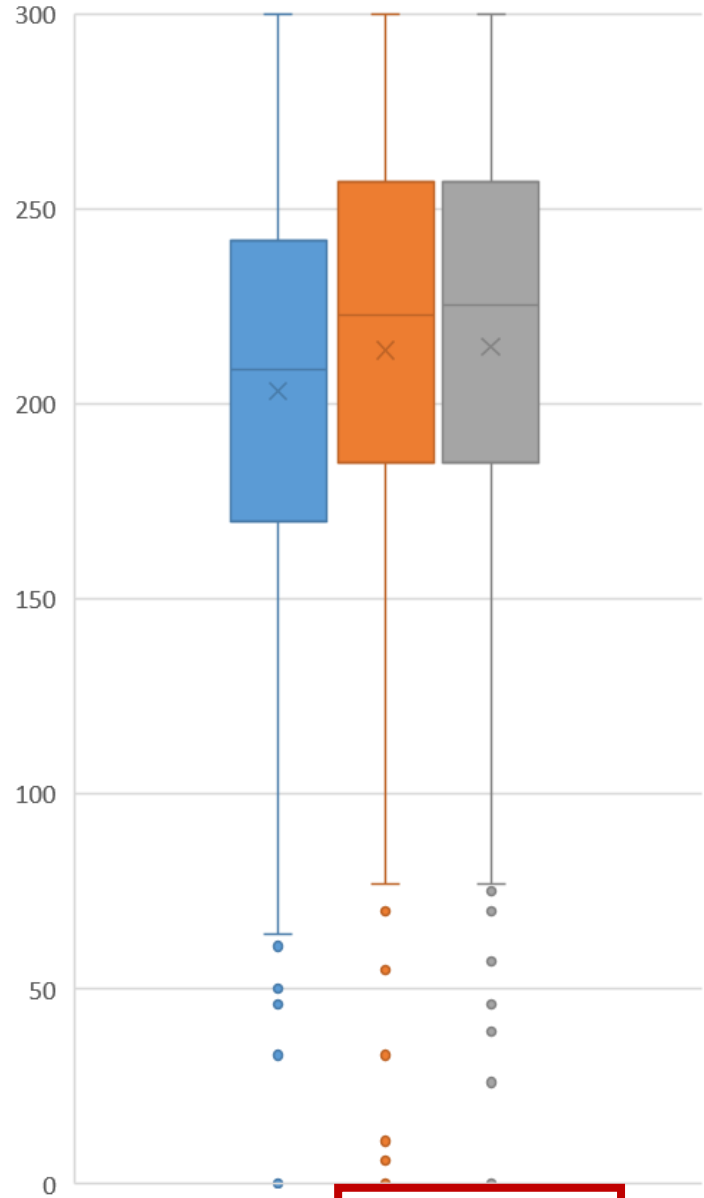
- 豊かな心7
- 豊かな心10
- 豊かな心12



- たくましく7
- たくましく10
- たくましく12

④各教科・総合における「学びに向かう力・人間性等」を測定する評価指標の検討と実施

自己評価スコア(全校)



主な成果

- 共通研究主題に基づく研究推進により、「学びの意義を理解し自ら学び続ける生徒」のカリキュラム・マネジメントを図ることができた。
- SDGsを意識した総合的な学習の時間の「学びのカレンダー」と「カリキュラム・マップ」を作成し、単元学習プログラムを組織的・計画的にPDCAで実施する基盤が整った。
- 本校版「目指す生徒像に基づく学びに向かう力・人間性等」の自己評価と、新たに採用した外部評価指標「Ai GROW」の計測コンピテンシーを用いることで、生徒の資質・能力の伸長を可視化することができた。
- 研究を推進する学校組織風土の醸成が進んだ。

主な課題

- 「学びの意義を理解し自ら学び続ける」「SDGsを意識した学びに向かう力・人間性等」の視点をより明確にする。
- 効果的なカリキュラム・マネジメントに関する実践研究を行い、本校が目指す生徒像「自主自律 豊かな心でたくましく」を具現化した「生徒像・リーダー像」について、認知および非認知の両側面から評価を行う。
- 総合的な学習の時間の「学びのカレンダー」と「カリキュラム・マップ」を活用し、単元学習プログラムが生徒の「SDGsを意識した学びに向かう力・人間性等」をより育成するものとなるようPDCAを継続する。
- 可視化されたコンピテンシー（非認知スキル）について、生徒一人一人が自らの学びを省察し改善できるような手立ての工夫を行う。

★全体研究では

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部

教育課程調査官

遠山 一郎 先生

岡山大学大学院教育学研究科

教授

川田 力 先生

中国学園大学・中国短期大学

副学長

住野 好久 先生

岡山理科大学教育推進機構教職支援センター長

教授

岡本 弥彦 先生

岡山大学 全学教育・学生支援機構

准教授

中山 芳一 先生

★各教科研究では

岡山大学教育学部および岡山大学大学院教育学研究科

岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 の諸先生方

にご指導ご助言を賜っております。

御清聴ありがとうございました。